

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公表番号】特表2002-512467(P2002-512467A)

【公表日】平成14年4月23日(2002.4.23)

【出願番号】特願2000-545246(P2000-545246)

【国際特許分類】

H 04 B	1/26	(2006.01)
H 03 J	7/04	(2006.01)
H 04 B	1/18	(2006.01)
H 04 L	27/22	(2006.01)

【F I】

H 04 B	1/26	R
H 03 J	7/04	
H 04 B	1/18	C
H 04 L	27/22	Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】衛星信号受信機において、許容されたLNB周波数ドリフト領域を有するデジタル信号同調システムであって、

デジタル情報を伝達するRF信号を同調するための局部発振器を含むチューナと、

前記チューナによって受信された前記RF信号を復調するためのキャリヤ・トラック・ループであって、前記RF信号の周波数と公称RF周波数の間の周波数オフセットを表す制御信号を発生するキャリヤ・トラック・ループを有するデジタル復調器と、

前記制御信号に応動して前記局部発振器の周波数を調整するための手段と  
を備え、

前記局部発信器の調整された周波数が前記デジタル情報の復号を可能にするかどうかを指示する出力信号(FEC LOCK)を生成するFEC復号器であって、前記出力信号(FEC LOCK)を、前記デジタル情報が前記FEC復号器によって復号可能でない場合に前記キャリヤ・トラック・ループのロックを外すために周波数を調整する前記手段に提供するFEC復号器

をさらに備えることによって特徴付けられ、

調整するための前記手段は、前記局部発振器の周波数を、許容されたLNB周波数ドリフト領域の端点の高い周波数から変更し、これによって、前記RF信号を同調する処理中、前記キャリヤ・トラック・ループが誤ったロック点にロックすることを防止することに寄与することを特徴とするデジタル信号同調システム。

【請求項2】前記キャリヤ・トラック・ループは、数値制御の位相ロック・ループ処理を実行することを特徴とする請求項1に記載のデジタル信号同調システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0013】**

図1に示されたディジタル衛星テレビジョン受信機において、衛星(図示せず)から送信された、映像および音声情報を表現するディジタル信号で変調されたRF信号は、皿状アンテナ1によって受信される。比較的高い周波数の受信RF信号(たとえば、12.2~12.7GHzのKu周波数範囲)は、RF増幅器3-1、MIXER(混合器)3-3、およびOSC(発振器)3-5を含むブロック・コンバータ3によって比較的低い周波数のRF信号(たとえば、950~1450MHzのLバンド)に変換される。増幅器3-1は、「低雑音」増幅器であり、このため、ブロック・コンバータ3は、しばしば「低雑音ブロック・コンバータ(low noise block converter)」の頭文字「LNB」により参照される。アンテナ1とLNB3は、受信システムのいわゆる「屋外ユニット」5に含められる。受信機の残余部分は、いわゆる「屋内ユニット」7に含められる。